

議事要旨(5)企業結合専門委員会における検討状況について

冒頭、逆瀬副委員長（専門委員長）より、現在、企業結合専門委員会では、次回の公表議決に向けて、論点整理の検討が行われている旨の説明がなされた。

引き続き、小堀研究員より、前回の委員会及び専門委員会での議論を受けて修正した「企業結合会計の見直しに関する論点の整理（案）」及び「コメントの募集（案）」について、説明がなされた。

これらに対する委員からの発言及び事務局からの回答は次のようなものであった。

- ・ 「【論点 1-1】持分プーリング法の取扱い」における今後の方向性について、論点整理の段階であるにもかかわらず、方向性を強く出しすぎているのではないかという指摘があった。
これに対し、事務局から、今回の論点整理の当該論点においては方向性を明らかにしたうえで広く意見を募るという方針である旨及び表現については見直しを検討するとの回答があった。
- ・ 「【論点 3】負ののれん会計処理」について、国際的な会計基準における取扱いとして記述がある第 50 項の考え方については工場や土地の時価をどのように算定するか明確でないところもあるため、可能であれば修正したほうがよいのではないかという指摘があった。
これに対し、事務局から国際的な会計基準そのものの記載であるため難しいが、可能な範囲で対応する旨の回答があった。
- ・ 「【論点 5】段階取得における会計処理」について、過去から取得している株式に係るその他有価証券評価差額金の取扱いについても記載したほうが分かりやすくなるのではないかという指摘があった。
これに対し、事務局から修正するかどうか検討する旨の回答があった。

以 上